



会報 第42号
— 発行者 —
栃木県立真岡北陵
高等学校同窓会
— 編集 —
同上編集委員会
— 印刷所 —
(株)井上総合印刷



校長
押久保 徹

「I+1」アイプラスワン
平成三十一年の新年を迎え、同窓会の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校教育活動に對しまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年度本校に赴任した押久保です。

よろしくお願ひします。さて、昨年度は本校にとって記念すべき節目となる創立百十周年を無事終了することが出来まし。これも同窓会の皆様方の御尽力のお陰であります。御礼申し上げます。さて今年度の生徒の活

躍を紹介したいと思います。三つの農業専門学科は地域との連携事業を更に積極的に進めております。生物生産科は高品質の農産物や畜産物を生産し、米についてGAPを取得しました。これは関東の農業高校で初めての取得です。いちご豚肉の生産に取り組むなど研究意欲も活発です。農業機械科は「もの作り」の精神を生かし、起業家精神育成事業に取り組む、竹細工を中心に取り組みました。食品科学科は「いごサミット」に向け、地元のJA、農政課や商工観光課、企業等と連携し地域特産のいちごを使った商品開発に取り組みんでいます。また熟柿を使用した商品開発も地域から期待されているところです。

総合ビジネス科は地域特産の真岡木綿の栽培から商品開発そして食品科学科の生産物を利用・連携し模擬会社を設立するなど、これからの活動が楽しみです。教養福祉科は来年度から学科名が介護福祉科に変わります。内容に変更はありません。生徒たちの介護福祉士国家資格の合格率の高さも特筆することであり、実習に取り組む真摯な姿勢が印象的です。

さらに部活動においてインターハイ、ビームライフル射撃大会で男子ビームライフル団体の部で準優勝、国体では個人の部で三位になるなど素晴らしい成績を収め伝統校の力を存分に発揮しています。女子バレー部をはじめ各運動部の活躍もめざましくこれから更に期待が持てます。文化部においては、吹奏楽部や写真部をはじめ、各部活動とも放課後は活気あ

る声とともに熱心に取り組む生徒たちの姿があり、更なる活躍が大いに期待されます。また本校独自の学校行事でも同窓会の方々と御協力のおかげで充実した物になりました。特に北陵祭におきましては、同窓会青年部の方々の活力溢れる活動に感謝する次第です。地域連携ではJAはが野をはじめ宇都宮メディアーツと包括連携協定

を締結し地域の教育力を取り入れながら、地域活動を通してコミュニケーション能力や実践力を身に付けています。「地域を愛し、地域をより活性化したい」これは生徒の言葉です。本校は、人としてのありべき姿を継承し、産業教育の根幹である実践教育を通して、様々な教育課題に取り組むことが大切であると考えています。今年度創立百十周年を迎える伝統校ですが、

は、十分な知識・技能、それらを基盤にして答えが一つに定まらない問題に自ら解を見いだしていく思考力・判断力・表現力等の能力、そしてこれらの基になる主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を育成することです。本当の意味での「生きる力」を定着させることが本校の責務であります。今年度創立百十周年を迎える伝統校ですが、

ふるさと教育



同窓会会長
廣田 茂十郎

会員の皆様には、御壮健にて、それぞれの職域で御活躍のことと、お慶び申し上げます。さて、私事、昨年五月の総会において、前賞谷善六会長の後任として、役員の方々のご推薦を受け、歴史と伝統のある真岡北陵高校の同窓会会長の重責を負うこととなりました。浅学非才、歴代会長の風格に足元にも及ばぬ身ではありますが、母校として現役生徒のため、誠心誠意、努力を怠りません。所存でありま

す。会員の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。母校は、今年創立百十二年目を迎えます。生徒の皆様の活躍、校長先生をはじめ先生方の生徒に対するひたむきな姿勢に数多く接し、母校の教育の成果が充分に上がっていることに、嬉しく、又心強く思っている所です。今、日本は、人口減少、少子高齢化社会を迎え、地方でも、その対策に取り組んでいる所です。当、芳賀郡内においても平成二十一年、十五万八千八百人の人口が昨年四月には、十四万七千人となり、十年間で一万千人の人口が減りました。大都市への一極集中を是正するための施策が、地方創生事業で、各自自治体でも知恵を絞る努力をしています。が、なかなか成果が上がらないのも事実です。そのような中、「ふるさと教育」の重要性が、クローズアップされてき

ています。子供達に、地方で生きる事の意義、誇り、喜び、真の人生の豊かさ、地域コミュニティの大切さ等々、しっかりと伝える教育が必要と感じている所です。そこには、親世代そして又、地域社会の全体の意識改革も必要かと思ひます。真岡北陵高校の教育そのものが、まさに「ふるさと教育」の神髄を担っているものと考えます。数多くの同級生が、地方の産業、地域コミュニティを守っている現実、誇りと頼もしさを感じている所です。校訓の「今日あるを感謝し、最善をつくす」を精神の要とし、「ふるさと教育」のオリジンリーダー的存在としての役割を果たしていただくことを期待します。結びに、母校と本会のますますの発展、生徒の皆さんのご活躍を心より申し上げ挨拶とさせていただきます。

日頃より同窓会の皆様には、生徒達のため、そしてPTA活動に對してご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。今年度PTA会長を仰せつかった益子・茂木地区の中山です。私も昭和五十四年度卒業の同窓会会員です。さて、今年度は創立百十一年周年です。生物生産科の生徒達が栽培した二〇一八年産米（コシヒカリ）が、食品の安全性などを確保するための国際的な農業生産工程管理「GLOBAL G.A.P.」の認証を取得しました。関東の農業系高校では初めてだと聞いています。また、二〇二〇年の東京五輪・パラリンピックの提供食材の基準にもなっています。今後も継続して取り組んでいってほしい

です。今年も北陵祭において、豚汁・カレーライスを販売するPTA食堂を開催することが出来ました。準備から調理・販売に至るまで二日間にはわたる多数の保護者の皆様に参加して頂き、大盛況の内に終わることができました。また、持久走大会においては、PTAとして豚汁作りで参加しました。ゴールした生徒達が「豚汁ください。おかわりください。」と二杯・三杯と食べ、あつという間に完食してしまいました。保護者の皆様も生徒達の笑顔を見ていただくと作って良かったと思ひます。最後になりますが、今年度もPTA活動にご指導、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

同窓会青年部の活動として、学校祭などの行事に参加したり、視察研修などを行っております。今年度の学校祭では、昨年度に引き続き焼きそば販売を行いました。青年部の参加人数も増え盛況のうちに終わることができました。また、活動を盛り上げるため視察研修につきましても現在検討中です。今年卒業される方々、興味のある方や協力できるという方は是非、活動に参加して頂きたいと思ひます。最後にありますが、今後とも青年部をよりよくお願い致します。

活動を振り返って



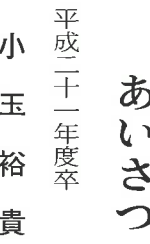
PTA会長
中山 達美

には、生徒達のため、そしてPTA活動に對してご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。今年度PTA会長を仰せつかった益子・茂木地区の中山です。私も昭和五十四年度卒業の同窓会会員です。さて、今年度は創立百十一年周年です。生物生産科の生徒達が栽培した二〇一八年産米（コシヒカリ）が、食品の安全性などを確保するための国際的な農業生産工程管理「GLOBAL G.A.P.」の認証を取得しました。関東の農業系高校では初めてだと聞いています。また、二〇二〇年の東京五輪・パラリンピックの提供食材の基準にもなっています。今後も継続して取り組んでいってほしい

です。今年も北陵祭において、豚汁・カレーライスを販売するPTA食堂を開催することが出来ました。準備から調理・販売に至るまで二日間にはわたる多数の保護者の皆様に参加して頂き、大盛況の内に終わることができました。また、持久走大会においては、PTAとして豚汁作りで参加しました。ゴールした生徒達が「豚汁ください。おかわりください。」と二杯・三杯と食べ、あつという間に完食してしまいました。保護者の皆様も生徒達の笑顔を見ていただくと作って良かったと思ひます。最後になりますが、今年度もPTA活動にご指導、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

同窓会青年部の活動として、学校祭などの行事に参加したり、視察研修などを行っております。今年度の学校祭では、昨年度に引き続き焼きそば販売を行いました。青年部の参加人数も増え盛況のうちに終わることができました。また、活動を盛り上げるため視察研修につきましても現在検討中です。今年卒業される方々、興味のある方や協力できるという方は是非、活動に参加して頂きたいと思ひます。最後にありますが、今後とも青年部をよりよくお願い致します。

青年部部长 あいさつ



平成二十一年度卒
小玉 裕貴

平成二十八年四月より青年部部长をしております小玉裕貴です。この度、会報の発行にあたり、御挨拶申し上げます。日頃より青年部の諸活動に對しまして、同窓会の皆様を始め、先生方には、御指導、御協力を頂きまして誠にありがとうございます。同窓会青年部の活動として、学校祭などの行事に参加したり、視察研修などを行っております。今年度の学校祭では、昨年度に引き続き焼きそば販売を行いました。青年部の参加人数も増え盛況のうちに終わることができました。また、活動を盛り上げるため視察研修につきましても現在検討中です。今年卒業される方々、興味のある方や協力できるという方は是非、活動に参加して頂きたいと思ひます。最後にありますが、今後とも青年部をよりよくお願い致します。



叙勲おめでとうございます

旭日双光章受賞

昭和三十五年卒 古橋 修一



平成二十九年春の叙勲におきまして、地方自治功労と云うことで、旭日双光章の授与があり、図らずも受章することが出来ました。身に余る光栄と思っております。

五月十二日午後、皇居宮殿に於いて、天皇陛下に拝謁の栄を賜り、陛下より労いの言葉をいただき誠に感無量でございます。

今考えて見ますと、私の半世紀は地域の皆様と共に頑張ることが出来た事だと思っております。

真農卒業後に地元青年団に入団し、団活動を通して多くの仲間づくりが出来た事でありました。三十代も地域の仲間と共に野球連盟を結成し、スポーツを通してこれまた大きな交流につながったこと、四十代は農協理事として、農協組織の改革期に、大内農協、真岡市農協、JAはが野農協に多くの仲間の皆さんと係わる事が出来たことであります。そして五十代半ばから、真岡市議会議員として十六年間、議会活動に参

画出来たことは、地域の多くの皆様の支えがあったからこそと思っております。私の今回の受章は地域の皆様のご協力の賜と感謝いたしております。それ以外にも、真農高時代に学んだ、真農頑張り精神の賜では、と信じております。私も北陵高、同窓会常任理事として長年会員皆様には、大変お世話になりました。深く



感謝しております。結びに、歴史と伝統ある北陵高に学ぶ在校生の皆さん、未来の明るい夢に向かって頑張ってください。

農事功労 緑白綬有功賞を頂戴して

昭和四十八年卒 坂本 安靖



二十九年十一月十五日、東京三農会館に於きまして、大日本農会秋篠宮総裁より、緑白綬有功賞を頂戴してまいりました。殿下のお言葉の後、祝賀会を催していただきましたが、緊張の連続の一日でしたが、何かを成したという感と、これからは、一線で頑張らなくてはという気概が生まれたような気がしています。

私は、昭和四十八年三月に卒業し、直ちに跡取りとして父と共に稲作に取り組みましたが、炎天下

の暑さと、稲刈りの痒さに根をあげて、いつのまにか、当時細々と祖父のしていた養豚を手伝うようになりまして。まだまだいい加減な作業しかしていませんでしたが、相性とは良く言ったもので、どうせ仕事をするなら豚飼いのほうがいいと思うようになりまして。今となっては天性の仕事を見つけたと思っております。全くのゼロからのスタートでしたが、自分なりに学習を重ねながら、見聞を広げてきたつもりです。あれから四十五年

以上の時間がたつわけですが、当時四十五万戸程あった養豚農家は、現在四千万戸ほどに減少していますので、実に百分の一になってしまいました。反面飼養頭数は微減ですが、一戸当たりの飼養頭数は百倍になっていました。私の経営はその中でも最も小さいサイズの養豚場になりますが、今回の受賞は、小さいながらもどこにか淘汰されずに、良く生き延びましたね、という意味でのご推薦をいただいたのかなと思っています。

さて、一昨年九月に法人経営に移行しました。そして、昨年四月には本校の女子卒業生に入社していただきました。現在繁殖舎関係の担当として努力していただいております。そのお陰もあり、二十九年の一母豚あたりの離乳頭数は初めて三十一頭を超えることが出来ました。

これからの、TTP、EPA、FTA、と養豚業にとってはマイナスの要因ばかりが続きますが、小さい農場の利点を追及しながら疾病の予防と、環境面に細心の注意を払い、今暫く代表取締役として経営に携わっていきたいと思います。

その当時は、農家の長男は後継者として農業高校で学ぶのが定石のように考えられていました。要するに、小さい農場の利点を追及しながら疾病の予防と、環境面に細心の注意を払い、今暫く代表取締役として経営に携わっていきたいと思います。

現在農業を取り巻く環境は、平均年齢が六十五歳を超える高齢化や、後継者不足による就農人口の減少など、大変厳しい状況にあります。農水省の調査によれば、農業従事者数の内、四十歳代以下の割合は、約一割であります。

現在農業は、ICTの活用や農業機械の自動運転など大きな転換期を迎えています。地域の発展のためには、時代に合った担い手の育成・確保によって、農業の活性化を図って行く必要があると思っております。

微力ではありますが、農業士としての活動を通して、地域農業の活性化、さらには地域の発展に努めて参りたいと思っております。ご指導賜りますようお願いいたします。

衆議院議員当選 おめでとうございます

真岡北陵高校の育む 自助自立の精神



衆議院議員 田所 嘉徳

同窓会の皆様におかれましては、益々のご盛栄のこととお喜び申し上げます。また、本年は創立百一十周年を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

本校は明治四十一年四月に開校し、爾来、大きな時代の変化に即応して、学科の改編などを伴いながら、幾多の優れた人材を育成してきました。

その歴史は本場に素晴らしく、私自身誇りにしております。

昭和四十一年に機械科を真岡工業高等学校として分離独立させ、昭和四十三年には真岡市下籠谷の新校舎に移転し、私はその翌年に入学しました。

その当時は、農家の長男は後継者として農業高校で学ぶのが定石のように考えられていました。

要するに、小さい農場の利点を追及しながら疾病の予防と、環境面に細心の注意を払い、今暫く代表取締役として経営に携わっていきたいと思います。

栃木県名誉農業士 認定

農業士時代の思い出



昭和四十三年卒 柳 芳伸

私が農業士の認定を受けて早くも十八年が立ち、今回名誉農業士となりましたので少し過去を振り返ってみたいと思います。

認定時はたばこ専業の複合経営でしたが長男の希望もあり平成十四年から専業となりました。

以来、夜冷設備の導入、育苗施設の拡充、連棟ハウスの増設を進め、安定した専業生産体制の確立に努めてきました。



農業士認定

昭和六十一年卒 柳 毛 隆行

昨年一月九日に県公館において、農業士の認定を受けてから、早いもので一年が過ぎました。

の間、研修や、活動を通して諸先輩方の活躍を拝見し、改めて農業士としての責任の重さを感じております。

現在農業を取り巻く環境は、平均年齢が六十五歳を超える高齢化や、後継者不足による就農人口の減少など、大変厳しい状況にあります。

農業士会活動の中で一番の思い出は会の中でのいちご専門部の活動でした。年に二回の宿泊研修や会員の園場見学、試験場での検定会等、濃密な時間を過ごした事はかけがえのない得がたい経験となりました。

井の中のカエルである事も自覚する事になり、何事も課題の解決には創意工夫と情熱を持ち続ける事の重要性に気づかされました。

平成二十四年からスカイベリーの実証栽培に取り組みましたがとちおとめとは異なる様々な壁にぶつかっております。

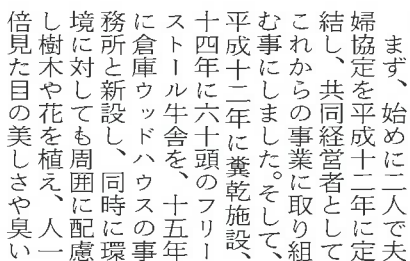
新品種の育成の難しさを実感しております。

現在農業は、ICTの活用や農業機械の自動運転など大きな転換期を迎えています。

地域の発展のためには、時代に合った担い手の育成・確保によって、農業の活性化を図って行く必要があると思っております。

微力ではありますが、農業士としての活動を通して、地域農業の活性化、さらには地域の発展に努めて参りたいと思っております。ご指導賜りますようお願いいたします。

昭和三十二年卒 國母孝至



に關しても氣を使つてま
す。その成果もあり、親
子連れの方々が来てくれ
るようになり、消費者の
方とふれ合うようになり
「意外と、酪農って理解
されてない。」と言うこ
とに気づかされました。

そんな私たちの姿を見
ての事か、息子も平成
二十二年に就農し、現在
妻と三人の家族経営です
が、完全分業制となつて
います。休日に関しては
自己申告にしています。

私達は、「めざせ、樂農
をキャッチフレーズに掲
げ少ない労働力で、効率
的な作業体系を確立し生
産性の向上を図って行き
たいと思います。

私は、平成二十年栃木県農業士の認定を受け、現在は畜産部会の部会長又、地元の沖沼農組合の組合長をしています。どちらとも後継者問題については、共通しておられます。これからは、行政・学校、地域を交え後継者作りをしていかなければならないと思います。

最後に、今回還暦という節目の年に表彰していただき誠にありがとうございました。これを励みに新たな気持ちで行きたいと思っています。



平成十二年卒 猪野雄介



十八年前、現在の校長の押久保先生が最後の担任をしたクラスの生徒として卒業をしました。高校時代を思い出すと、担任の押久保先生には大変お世話になりました。

四十ヘクタール、蕎麦二十七ヘクタール、納豆小粒十二ヘクタール、いちご四十アールを栽培しています。高齢化や後継者不足で農業を辞める人が増えてきて、現在の規

を胸に、今後も農業経営を頑張ります。

結びに、同窓会と真岡北陵高校の益々の発展をご祈念申し上げます。

今回、真岡北陵高校同窓会より優良同窓生として、表彰を受けた事、心より感謝申し上げます。表彰を頂けた事により、押久保校長にも恩返しもできたのかなと思います。

現在、真岡市物井、二宮尊徳ゆかりの地で土地利用形農業を経営しています。経営規模は稲作約八十ヘクタール、小麦

模になりました。

近年、面積が増えてきたので稲作では、乾田直播や田植えの時に苗の枚数を減らす栽培法や、海外の大型農業機械などを導入し省力化などして現在の面積を経営しています。今後は、GPSやICTの技術をさらに利用して経営していきたいと思っています。「今日あるを感謝し、最善を尽くす」



昭和四十四年卒



平成三十年四月に優良同窓生表彰を賜り厚く御礼申し上げます。私は卒業後、農業に就職しましたが益子町は特にたばこの産地であり、ほとんどの農家がたばこを栽培しております。



私の家では、経営面積が少ないため規模拡大をするか、会社に勤めるかを悩んでおりましたところ農協より職員の募集があり、農協は農業の組織なので自分の農業と両立が出来ると思い、農協に就職しました。

農協退職後は、地域内の集落営農や多面的機能事業など組織づくりに携わることができまし



科長 高橋 由起

生物生産科では、農業
営や農業関連産業のス
チャリストの育成を目

標としており、学習活動に取り組んでいる。本年度の活動内容について紹介したい。

① GLOBALG.A.P. 認証
JGAP

家後継者としての目標を語り、最優秀賞を受賞することができた。

③地域貢献活動

真岡市給食センターに実習で栽培した野菜を提供し、ナシ・ブドウの即売会を実施するなど、地産地消を勧める食育活動に貢献することができた。また、近隣の小中学校を中心に農業を通したボランティア活動に取り組んだ。今後も、地域との関わりを充実させながら、将来にわたって地域で活躍できる人材の育成に取り組んでいきたい。

①平成三十年四月二十一日(土)、東京都江東区にある東京ビックサイトで開催された「第九回関東甲信越高校生溶接コンクール」に、栃木県代表として本校農業機械科二年熊田銀清が参加した。結果は残念ながら入賞とはならなかったが、本人としては精一杯競技に臨んだ結果となった。

②平成三十年六月二十三日(土)に茂木町で「Hondaエコマイレッジチャレンジ二〇一八第十回もてぎ大会」が開催され、五十ccカブバイク部門

三十四回ふれあいフェスティバルに本校農業機械科の課題研究班の生徒が、真岡市社会福祉協議会の協力の下、北陵産ピザ釜を用いてピザのチャリティー配布を行った。生徒によって用意されたピザ釜の中で、熱々のピザを焼き、多くのお客様に提供することができた。

④平成三十年十一月十七日(土)、栃木県立県央産業技術専門校で開催された「とちぎものづくり技能競技大会」溶接の部(第七回栃木県高等学校溶接コンクール)に

に参加した。課題研究に
て、五ヶ年バイクは近
所の農家で三年以上も
放置してあったバイク（ホ
ンダスーパーカブ緑）を
メンテナンスして軽量化
加工を図り大会に臨ん
だ。昨年は、見事に完
走して八位という結果に
なった。今年は昨年と同
様に完走したものの、タ
イムオーバーにより「失
格」ということになった。

において、農業機械科一年の佐藤勇輝が準優勝し、来年四月に行われる関東甲信越高校生溶接コンクールに栃木県代表として出場権を得ることができた。昨年度も本校生徒が関東大会に出場しており、二年連続での出場となるため、関東大会でも良い結果を残せるよう頑張っていきたい。

う、準備を進めている。

②農業クラブ活動について
プロジェクト発表部門において、養豚に関する研究発表が県大会で最優秀賞を受賞した。毎日の飼養管理を生徒たちで担当し、努力を重ねた成果であると言える。また、意見発表部門でも、花農

来年は計画を含めたサ
ポートメンバーも鍛え直
して、好成績を目指し
ていきたい。

Honda エコマイレッジチャレンジ 2018

⑤平成三十年十一月二十三日(祝金)に真岡市民広場をメイン会場として開催された真



とちぎものづくり技能競技大会 溶接の部

三回体の活動内容

生徒会活動を振り返って

三年一組 池上 絵理花

私が生徒会長に当選してから一年が経ちました。希望と不安が入り混じるなか、生徒会活動が始まりました。就任した当初は、本当に私に会長が務まるのか心配でしたが、たくさんの方に支えられて、ここまでくることができました。そして、生徒全員が一丸となって行事を盛り上げてくれました。

体育祭では、昨年よりも多くの生徒が活躍できるように工夫しました。今年度は、クラス対抗競技の他に、部活動対抗リレーを企画・実施しました。各部活動がユニフォームや衣装を身に纏い、バトンにも工夫を凝らして参加し、大いに盛り上がりました。どのクラス、どのチームも最後まで諦めず、仲間と協力

して戦う姿に、熱いものを感じました。勝ち負け以上に大切な、仲間との絆が得られたと思います。北陵祭では、校内公開・一般公開ともに大いに盛り上がりました。吹奏楽部の演奏に合わせて、北陵祭実行委員と生徒会役員、教職員と一緒にダンスを披露し、会場を沸かせました。委員会や文化

部の発表、有志団体による歌やダンスのパフォーマンスも、大変盛り上がりました。また、一般公開日は、地域の方々がたくさん来てくださり、学校だけでなく、地域ぐるみで盛り上がることでできた北陵祭だったと感じます。北陵祭実行委員をはじめ、生徒の皆さんや先生方の支えがあって成功したのだと思います。

この二つの行事以外にも、壮行会や予餞会などがあり、その度に皆で協力しながら活動してきました。生徒会役員のメンバーは、効率よくスピーディーに仕事をこなし、

とてもよくまとまった生徒会執行部であったと思います。私はその中で会長ができたことを本当に嬉しく思います。

最後にありますが、新生徒会長の熊田くんには、私たちがまた違った生徒会をつくってもらいたい、この真岡北陵高校をより一層発展させ、新しい歴史を築いていってほしいと思います。そして、今まで支えてくれた生徒会、先生方、先生方に、心から感謝します。平成最後、真岡北陵高校生徒会の会長になったことを誇りに思います。皆さん、本当にありがとうございます。

家庭クラブ会長として

三年五組 佐藤 恵

今年度、副会長から会長として活動し、早一年が経ちました。最初は分からないことばかりで自分には務まるのかという不安でいっぱいでしたが、たくさんの方に支えられ、最後まで会長としての役目を全うすることができました。

家庭クラブの主な活動内容としては、エコキャップ回収、ハンドソープの詰め替え、設置、文化祭での募金活動、調理講習会、そして災害ボランティア勉強会などがあります。災害ボ

ランティア勉強会は、三年前から社会福祉協議会の方々の協力の下、災害についての知識や対策方法を学び、実際に避難所運営訓練、炊き出し訓練にも参加しました。伝える事の難しさ、スムーズに対応することの大変さを知り、高校生の私たちだからこそ出来る事について深く考える機会になりました。

家庭クラブ活動は、人の役に立つものがたくさんあります。エコキャップ回収では、ペットボトルキャップを集め、それ

最後にありますが、先生方をはじめとする家庭クラブ役員、会員の皆さん、温かいご支援ありがとうございました。今後の家庭クラブ活動が、真岡北陵高校のますますの発展へと結びつきますように祈念しております。三年間ありがとうございました。

生徒会活動報告

顧問 小倉 沙織

今年度の生徒会活動は、生徒会役員中心に活気あふれる活動になりました。一学期はたくさんさんの生徒会行事がありました。四月には、在校生が新入生を迎える対面式や新入生に向けた部活動紹介、生徒会行事や予算を決定する生徒総会を実施しました。また、創立記念式典に合わせて行われた芸術鑑賞会では、わらび座による「KINJIRO」——本当は面白い二宮金次郎——を鑑賞しました。

五月には、益子特別支援学校との交流会が行われました。お互いにレクリエーションを企画し、大いに盛り上がりしました。六月には、体育祭が開催されました。大縄跳びや

サッカー、バドミントンなどの各種球技が行われました。優勝は昨年に引き続き三年四組でした。七月に行われた野球応援では、多くの生徒が参加し、野球部員の勇姿に声援を送りました。

二学期には、北陵祭が開催されました。今年度の収穫祭は、北陵で育てた豚をパーベキューでいただくことができました。美味しいうに類張る生徒たちの顔が非常に印象的でした。校内公開では、保健委員会の研究や介護福祉基礎選択者による手話ソング、ボランティア部や吹奏楽部による演奏の他、有志団体のバンド演奏やダンスの発表を行いました。文化部や同好会等の活動を知る良い機会にな

りました。一般公開では、朝早くからたくさんの方にご来場いただきました。農産物や加工品の販売、各種模擬店、体験ブース、文化部による作品展等様々な取り組みがありました。北陵祭実行委員会の催しとして、今年度はクラス紹介コンテストを企画・実施しました。どのクラスも特色が出るように工夫を凝らして作ってくれました。来場者からの投票の結果、二年五組が最優秀作品に選ばれました。

数々の生徒会行事を経て、生徒たちの成長が間近で見られた一年でした。人前で話すことに苦手を感じていた生徒が、原稿を見ずに全校生徒の方を向いて話す姿、指示

待ちの多かった生徒が、いつの間にか率先して仕事を任せて行動する姿、さまざまな成長がありました。今後も生徒の傍で、生徒の活動を支えていければ幸せに思います。

今年度いただきましたご支援とご協力に感謝いたします。今後ともよろしくお願いたします。

家庭クラブ活動状況について

顧問 田崎 朋子

今年度の家庭クラブの活動について、ご報告申し上げます。本年度も生徒達が積極的に活躍いたしました。

まず、今年度栃木県学校家庭クラブ連盟の役員校として県連の各種行事の運営に携わりました。特に宇都宮市で行われた家庭クラブ総会や研究発表大会では、佐藤会長、大橋副会長をはじめ、役員それぞれが他校の生徒と協力しながら担当の業務を立派に務めました。

次に、研究活動である災害ボランティア勉強会をさらに充実させています。十二月二十一日には、HUG（避難所運営ゲー

ム）を実施しました。これは災害時、避難所運営を任せられたという設定の下、次々とやってくる避難者の状況を考慮しながら適切に対応するというゲーム形式の教材です。このゲームを通して、避難所運営や避難生活での困難な部分や災害への意識の甘さについて気づかされたとともに、普段から備えることの大切さを理解するきっかけとなりました。一月十八日には真岡市社会福祉協議会の「地域と高校生」についてお話をいただく予定です。さらに、今年度で三回目の参加となる避難所運営訓



体育祭



野球応援



北陵祭



着付け講習会



災害ボランティア勉強会



県連研究発表大会

農業クラブ会長として

三年三組 櫛 毛 涼 乃

私は高校二年生から農業クラブ役員になり、たくさんの経験をさせて頂きました。今年度は日本学校農業クラブ連盟会長というとても大きな立場になり、私に務まるのか不安でいっぱいでした。はじめのころは先生に言われるがままに行動することが多かった私ですが、様々な会議や研修

会に参加していくうちに自分から行動できるようになりました。私がこのように成長できたのは、たくさんの人との出会いがあったからだだと思います。全国の会長になった私は、常任理事として月に一回ほど東京で行われる会議に参加しました。そこでは関東ブロック九

思いつかない考えもみんなで見え交換することで生み出されることも多くあり、改めて仲間の大切さを感じることができました。私が一年間農業クラブ会長を務め、一番印象に残っているのは鹿児島県で開催された全国大会です。多くのクラブ員の前で祝辞を読ませて頂き、とても緊張しましたが全国の会長だからできた、とても貴重な体験でした。農業クラブを通して、

農業クラブの知識だけではなく、これから生きていく上で大切なことを学ぶことができました。ここでの経験を生かし、これから自分の目標に向かって進んでいきたいです。最後にありますが、支えてくれたクラブ員のみならず、御指導頂いた先生方に改めて感謝申し上げます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

農業クラブ活動報告

顧問 菅 原 礼 太 郎

今年度の農業クラブの主な取り組みについてご報告いたします。

活動報告

●総会

年度初めの総会では、平成二十九年度会務並びに事業報告(校内・県連)、会計決算報告、平成三十年度会務並びに事業案(校内・県連)、会計予算案について審議されました。また、役員の紹介をしました。

●校内意見発表会

本校第一体育館で行われた校内意見発表会では、各クラスから代表者が選ばれて、十名の生徒が出席。自分の経験を含めた意見を七時間の原稿にまとめ、しっかりとした態度で発表しました。このうち三名が県大会に出場しました。

最優秀賞 二の三 山下 伶梨

「輝くイチゴ」

●校内農業鑑定競技会

本校第一体育館で行われた校内鑑定競技会では、クラブ員が普段学んでいる専門知識について、四十問の問題に挑戦しました。

- 生物生産科 最優秀賞 二の一 鈴木 真波
- 農業機械科 最優秀賞 三の二 山崎 啓寛
- 食品科学科 最優秀賞 二の三 水沼 早貴

●栃木県学校農業クラブ連盟大会(各種発表大会)

栃木県教育会館を会場に、県大会が行われました。



【分野：Ⅱ類】優良賞 三の二 榎木 勇也 他六名

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 三の一 益子 莉緒 他六名

「真岡から新たな特産品を全国へ」本校産ブランド豚「北陵ポーク」の生産の模索」

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴

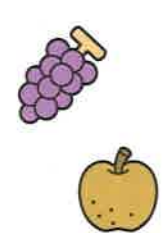
【分野：Ⅰ類】優秀賞 三の二 早乙女 凌太

【分野：Ⅱ類】最優秀賞 二の三 山下 伶梨

【分野：Ⅲ類】最優秀賞 二の三 佐藤 新奈

【分野：Ⅳ類】優秀賞 三の三 櫛毛 涼乃

【分野：Ⅴ類】最優秀賞 二の三 水沼 早貴



●北陵高朝市(おしゃらくマルシェ)
九月八日に実施しました。本校農場の果樹園において、ブドウ・ナシの販売を通し、果樹専攻の生徒と農業クラブ役員が地域の方々と交流を図りました。評判も非常に良く完売しました。



●収穫祭
今年の収穫祭は天候に恵まれたものの、本校農場の水田の足場が悪く、各農場の建物付近で行われました。今年度よりカレイライス作りから、鉄板を使用してのバーベキューに変更しました。本校畜産部で飼育された牛肉や米を使って、一年間の収穫を感謝するとともに、クラスの生徒同士や他のクラスとの交流を深め、大いに充実した収穫祭となりました。

畜産コース
三の二 山崎 啓寛
食品コース
二の三 水沼 早貴

農業クラブ全国大会代表者会議に参加して

二年一組 鈴木 留 奈

私は、十月二十四日、二十五日にかけて鹿児島県で行われた第六十九回日本学校農業クラブ全国大会のクラブ代表者会議に参加してきました。

クラブ代表者会議の会場の指宿市は、鹿児島県の端にあるようで、移動中に海が見えました。前日まで、熊本県の代表としてきちんと意見が述べられるかとも不安でしたが、その海の綺麗さと会場での運営の方々が歓迎してくれ、和らぐことができました。

私は、十月二十四日、二十五日にかけて鹿児島県で行われた第六十九回日本学校農業クラブ全国大会のクラブ代表者会議に参加してきました。

クラブ代表者会議の会場の指宿市は、鹿児島県の端にあるようで、移動中に海が見えました。前日まで、熊本県の代表としてきちんと意見が述べられるかとも不安でしたが、その海の綺麗さと会場での運営の方々が歓迎してくれ、和らぐことができました。

全国大会に出場して

二年三組 山下 伶 梨

私は、第六十九回日本学校農業クラブ全国大会平成三十年度鹿児島大会の意見発表会に出場し、多くのことを学ぶことができました。良い結果を残すことはできませんでしたが、人との繋がりがその地域、その学校に根付いた伝統を知ることができ、自分自身成長できたのではないかと思います。しかし、ここまでの道のりはとても大変でした。

私が出場したⅡ類は「開発・保全・創造」という分野のため、熊本県

全国農業鑑定競技会に出場して

三年二組 山崎 啓 寛

私は、十月二十三日から十月二十六日にかけて鹿児島県で行われた農業鑑定競技会の全国大会に農業機械科の代表として参加してきました。参加する科目は今まで勉強してきた分野ではなく、全てが手探りで状態でした。そのため何ヶ月も前から勉強をはじめ、少しでも多くの単語を覚える事をしました。そして大会前日になり、緊張しながら集合場所である小山駅に向かいバスに乗り込みました。バスは、熊本県の農業鑑定競技会の代表者たちと同じでした。羽田空

私は、十月二十三日から十月二十六日にかけて鹿児島県で行われた農業鑑定競技会の全国大会に農業機械科の代表として参加してきました。参加する科目は今まで勉強してきた分野ではなく、全てが手探りで状態でした。そのため何ヶ月も前から勉強をはじめ、少しでも多くの単語を覚える事をしました。そして大会前日になり、緊張しながら集合場所である小山駅に向かいバスに乗り込みました。バスは、熊本県の農業鑑定競技会の代表者たちと同じでした。羽田空

農業鑑定競技会に参加して

二年一組 田崎 碧 葉

私は今年度、鹿児島県で行われた農業鑑定競技会の全国大会に参加しました。移動で乗った初めての飛行機は、熊本県・真岡北陵の代表として出場することに緊張する私に、少しの楽しさを与えてくれました。

私は高校入学前から農業鑑定競技会をはじめとすから聞いていました。いつか私も父のように思いついて、入学して一年生で挑んだ農業鑑定競技会の校内予選はともかく緊張しました。ベルの音と共に響く足音。一年生で勉強不足なこともあり、全国代表になる夢は叶いませんでした。先生方のご好意で県大会に出場させて頂き、優秀賞を頂いたものの悔しい思いで一年間を過ごしました。

私は今年度、鹿児島県で行われた農業鑑定競技会の全国大会に参加しました。移動で乗った初めての飛行機は、熊本県・真岡北陵の代表として出場することに緊張する私に、少しの楽しさを与えてくれました。

私は高校入学前から農業鑑定競技会をはじめとすから聞いていました。いつか私も父のように思いついて、入学して一年生で挑んだ農業鑑定競技会の校内予選はともかく緊張しました。ベルの音と共に響く足音。一年生で勉強不足なこともあり、全国代表になる夢は叶いませんでした。先生方のご好意で県大会に出場させて頂き、優秀賞を頂いたものの悔しい思いで一年間を過ごしました。

農業鑑定競技会に出場して

二年三組 水沼 早 貴

私は、十月二十四日、二十五日にかけて鹿児島県で行われた第六十九回日本学校農業クラブ全国大会の農業鑑定競技会に参加してきました。

前日の飛行機やバスの移動の際に、農業鑑定競技会に参加するであろう人たちが、移動時にもかかわらず必死に勉強しているのを目の当たりにし、焦りや緊張を覚え、また、ホテルに着いてからも、机に向かい勉強している人々を見て、さらに緊張してしまっていたのですが、話して

私は、十月二十四日、二十五日にかけて鹿児島県で行われた第六十九回日本学校農業クラブ全国大会の農業鑑定競技会に参加してきました。

前日の飛行機やバスの移動の際に、農業鑑定競技会に参加するであろう人たちが、移動時にもかかわらず必死に勉強しているのを目の当たりにし、焦りや緊張を覚え、また、ホテルに着いてからも、机に向かい勉強している人々を見て、さらに緊張してしまっていたのですが、話して

全国大会を振り返って

三年二組 中三川 伊 吹

私は、七月二十九日(日)から八月五日(日)にかけて広島県安芸太田町で開催された第五十六回全国高等学校農業クラブ生物生産選手権大会に生物生産科三年宮脇駿、農業機械科三年中三川伊吹、同科二年上野健太・野沢勇翔のメンバーでチームライフル種目男子団体に出場し、一八五・〇点で準優勝することができました。

実際には、中三川・上野・野沢の三人で団体メンバーを組み、宮脇は補欠兼マネージャーとして競技に参加しました。射撃順は、一番手に中三川、二番手に野沢、三番手に上野という順番で競技を行いました。一番手である中三川が何度か大きなミスで、二番手である野沢が、後輩達を引っ張っていき二番手である野沢を流れて乗せ、三番手の上野につなぐという作戦で競技に臨みました。それぞれ緊張がプレイヤーの中、宮脇がメンバー一人一人に声を掛け少しでも安心して撃てるように配慮してくれました。その甲斐もあり、メンバー三人とも安定した点数を撃つことができました。優勝はあともう少し、優勝にはあと一歩届かず悔しい思いをしました。しかし、今まで良い成績を出せたことがない中で団体成績が発表されたときは驚きを隠せませんでした。

私は、七月二十九日(日)から八月五日(日)にかけて広島県安芸太田町で開催された第五十六回全国高等学校農業クラブ生物生産選手権大会に生物生産科三年宮脇駿、農業機械科三年中三川伊吹、同科二年上野健太・野沢勇翔のメンバーでチームライフル種目男子団体に出場し、一八五・〇点で準優勝することができました。

実際には、中三川・上野・野沢の三人で団体メンバーを組み、宮脇は補欠兼マネージャーとして競技に参加しました。射撃順は、一番手に中三川、二番手に野沢、三番手に上野という順番で競技を行いました。一番手である中三川が何度か大きなミスで、二番手である野沢が、後輩達を引っ張っていき二番手である野沢を流れて乗せ、三番手の上野につなぐという作戦で競技に臨みました。それぞれ緊張がプレイヤーの中、宮脇がメンバー一人一人に声を掛け少しでも安心して撃てるように配慮してくれました。その甲斐もあり、メンバー三人とも安定した点数を撃つことができました。優勝はあともう少し、優勝にはあと一歩届かず悔しい思いをしました。しかし、今まで良い成績を出せたことがない中で団体成績が発表されたときは驚きを隠せませんでした。



福井国体を振り返って

二年二組 野 沢 勇 翔

私は、平成三十年九月三十日(日)から十月七日(日)にかけて福井県福井市で開催された第七十三回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」ライフル射撃競技会にチーム・ライフル少年男子立射六十発競技と三十発競技の二種目に出場しました。私は、国体という大きな舞台で競技を行うことが初めてでした。関東大会や全国大会(インターハイ)と違って県の代表する名の知れた強い選手が多く、競技種目によってはオリンピックなど世界で戦っている選手が多くいたためとても勉強になりました。私は二年生になってから県外の関東大会や全国大会に出場することができ、初めての全国大会では緊張が大きく出てしまい良い成績を残せず、その後の大会も思うような力が出せずにいました。しかし、自分に何が足りないのかと日々の練習をしていくうちに徐々に好記録が出るように

なり、同年八月の関東ブロック大会では実力を発揮することができ、国体への出場権を獲得することができました。大会当日、福井県立足羽高等学校体育館B R会場は少し暑く感じつつも体調は万全で大会に臨むことができました。一日目の種目は六十発競技でした。本射は中々初弾を撃つことができず、銃を数回下ろし気持ちを整えました。初弾を撃ち終えてからは、自分の射撃ができ、本戦を七位で通過すること、決勝戦(ファイナル競技)への出場権を得ることができました。ファイナルリスト上位八名が出そろい、決勝戦が行われ、緊張の余り思うような射撃ができず八位で終わってしまいました。悔しい結果に実力不足を痛感しました。二日目の三十発競技は、昨日の反省を活かして一発一発センターを狙って撃ちました。初発は引金引き遅れてしまっ、九点を出してしまいが真っ白になってしまいました。しかし、一度味わった緊張感が糧となり、気持ちを落ち着かせて丁寧な射撃を心掛けました。次第に自分のペースでの射撃を掴むことができ、撃ち終えてみると、順位は三位入賞という結果に驚くと共に嬉しさが込み上げてきました。国体という国内最大級の大会に出場することができ、他の選手の経験値の差や射撃を楽しむことの大切さを改めて知ることができた大会となりました。来年も国



体に出場して、上位に入賞または優勝を目指したいと思います。

福井国体を振り返って

二年四組 仲 田 尊

私は、平成三十年九月三十日(日)から十月七日(日)にかけて福井県福井市で開催された第七十三回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」ライフル射撃競技会にチーム・ピストル少年男子立射六十発競技の種目で出場しました。予選であった関東ブロック大会で、三位に入賞し国体の出場権を得ることができ本当に嬉しかったです。出発当日は、栃木県から石川県の金沢駅まで

は問題なく移動できたのですが、台風の影響で予定していた特急電車が運休になり、鈍行で福井県まで電車で二時間程度揺られながら昼過ぎに着きました。昼食後、射撃場を見学し宿舎に移動して一日目は終わりました。二、三日目は公式練習で、私はチーム・ピストル種目であったためチーム会場である福井県立足羽高等学校体育館に二年二組の野沢さんと一緒に移動しました。公式練習では



大きな大会に出場し、雰囲気の違いや強いプレッシャーを感じることで、非常に良い経験となりました。そして、この経験を活かし、来年は入賞できるように日々の練習を頑張り、リベンジしたいと思います。

進路室から

進路指導部長 田 村 勇 治

今年度は創立百一十周年を迎え、真岡農業・北陵高校卒業生は第百九期生になります。今年度も、これまで蓄積された進路指導の経験や方法を状況に応じて生かしながら、生徒たちの進路実現のため、一人一人に応じたきめ細かな進路指導に努めてまいりました。さて今年度の進路の状況は、結果の出ている生徒で進学五十七名・就職百十名であり、昨年度に続き就職の生徒の割合が多くなりました。進路指導では、模擬面接や小論文指導などの指導を行いました。生徒たちも目標に向かってよく

努力し、その結果、私立大学十五名、短大六名、県内外の多くの専門学校に合格者を出すことができました。大学と短大を合わせた数は二十一名と昨年度に比べ二倍以上の生徒が合格することができました。入試では推薦やAO入試を利用して受験・合格した生徒が多くなりましたが、これは教科の学習とともに、部活動や生徒会・農業クラブ・家庭クラブなどの活動、さらに本校生が取り組んでいる特色ある諸活動が評価された結果と思われる。

就職は、昨年度の求人数約四百件に比べ、今年度はさらに増え五百件近くの求人票が届くなど状況は好転しつつあります。そのため、九月応募者の就職内定率は八十九・四％と高い数値となり、その後も順調に内定を得ることができました。

就職指導では、外部講師による講演会や全体指導を実施して生徒の意識向上に努めました。就職試験対策としては、模擬面接や作文指導、礼儀・マナー指導などを徹底し、社会人として適応できる力の育成に取り組ましました。特に九月の採用試験前の模擬面接では、教員全員で生徒一人一人に対し複数の教員が面接官となり、本番さながらの面接を行いました。一回では終わらず二回・三回と指導を受けた生徒がいたり、緊張や質問に答えられない悔しさから涙を流した生徒もいました。

生徒たちの日頃の努力が実を結び、今年度も概ね生徒たちの希望する進路を実現することができました。今後も生徒たちの希望する進路を実現することを第一に考え、進路指導の充実に一層努めてまいりたいと考えております。

平成30年度 3年生の進路状況

(1月11日現在)

在籍数	学 科 名	男 子		女 子		合 計					
	生 物 生 産 科	20		15		35					
	農 業 機 械 科	34		0		34					
	食 品 科 学 科	6		33		39					
	総合ビジネス科	18		18		36					
	教 養 福 祉 科	1		27		28					
	合 計	79		93		172					
(未定 5 名)											
就 職		公務員		県 内		県 外		茨城県		合 計	
	学 科 名	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
	生 物 生 産 科	0	0	8	9	0	0	1	1	9	10
	農 業 機 械 科	0	0	25	0	0	0	0	0	25	0
	食 品 科 学 科	0	0	4	22	1	0	0	1	5	23
	総合ビジネス科	0	0	8	9	0	0	1	0	9	9
	教 養 福 祉 科	0	0	1	19	0	0	0	0	1	19
合 計	0	0	46	59	1	0	2	2	49	61	
進 学		国公立大学		私立大学		国公立短大		私立短大		教育訓練施設等	
	学 科 名	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
	生 物 生 産 科	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0
	農 業 機 械 科	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	食 品 科 学 科	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0
	総合ビジネス科	0	0	3	5	0	0	0	0	2	0
	教 養 福 祉 科	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
合 計	0	0	8	7	0	0	0	0	6	1	

編集後記

平成最後となる今年度は、全国的には災害が多発しました。県内では大きな被害が少なく済みました。本校の教育も社会変化に対応する新たな対応に取り組み、その結果が楽しみです。卒業生の進路も順調に進み、将来の活躍を強く望むところで。本校同窓会においても、役員の一環がなされ今後の活躍が期待されます。今後とも本校同窓会にご協力をお願い申し上げます。(昭和四十一年度卒 館 芳衛)